

(2)「南インドの地質・文化・人・自然」田川 道啓（高知大学大学院 理学研究科前期博士課程 2 年）

①インド亜大陸の地体上の位置

インド地塊、オーストラリア地塊、東南極地塊が5億年前には東ゴンドワナ超大陸の一部を構成していた。これがアフリカ大陸に衝突して衝突帯を形成した。

②南インドの地質概要

マドラスとマイソールを結ぶ線より北側には花崗岩・低度変成岩が分布し、南側には高度変成岩が分布している。この高度変成岩の分布地域のほぼ中央部に、X字状にせん断帯がみられる。また、海岸部には100~200 kmの幅で海岸にそって古生代以降の堆積岩類が見られるようである。

2枚の地質関係の図のあとは、南インドの明るい風景とそこに生活する民衆のおおらかさとインド料理のいくつかの写真が楽しく印象的であった。